

## 第3章

## 酒田市中長期観光戦略（新酒田物語）

前章の酒田市の観光の現状と課題、SWOT分析等を受けて、あらためて酒田市の観光における課題を整理し、課題に対応した戦略とするため、酒田市中長期観光戦略を策定する。

### （1）酒田市の観光の課題整理

酒田市の観光の現状分析	課題	各種調査結果
<ul style="list-style-type: none"><li>◆観光資源・地域資源の現状</li><li>◆観光入込者数の現状</li><li>◆庄内地域の観光の現状</li><li>◆やまがたデスティネーションキャンペーンの状況</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>*酒田の知名度が低い</li><li>*日帰り観光客が多い</li><li>*観光客の市内回遊に乏しい</li><li>*既存観光施設が観光客ニーズと乖離</li><li>*宿泊機能が不足</li><li>*二次交通手段が不足</li><li>*情報発信機能が脆弱</li><li>*観光推進体制が無い</li><li>*関係者の役割分担が不明確</li><li>*関係機関の連携が不足</li><li>*名物・名産品のイメージが少ない</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>▼既存の観光資源が弱い</li><li>▼回遊型の資源が不明確</li><li>▼酒田の認知度が低い (来訪者調査より)</li><li>▼「食」をうまく活かせていない</li><li>▼集中と選択でアピール不足</li><li>▼関係機関の連携がない (ヒアリング調査より)</li><li>▼認知度7割、来訪経験3割</li><li>▼若年層ほど認知度が低い</li><li>▼飲食や景観の魅力が高い (インターネット調査より)</li></ul>

#### <観光の現状と各種調査結果からみた酒田の観光の課題>

酒田市の観光の現状について、各種調査結果を通じてあらためて見直してみると、様々な課題があることが浮き彫りとなってきた。特に、酒田の認知度が低いこと、さらには酒田を観光で訪れる動機付けという側面で、決定的に弱いことが一番の課題となっている。

しかし、これを庄内地域全体で見ると、地域全体では観光入込者数は増えてきているものの、酒田市を観光目的地として認識している来訪者はあまりいない。酒田市の観光の魅力を発信するためには、これまでのような観光振興施策ではなく、新しい視点で観光資源・地域資源を見つめ直し、何が酒田の“ウリ”になるのかを見極めて、新しい考え方のもとに戦略を策定する。